

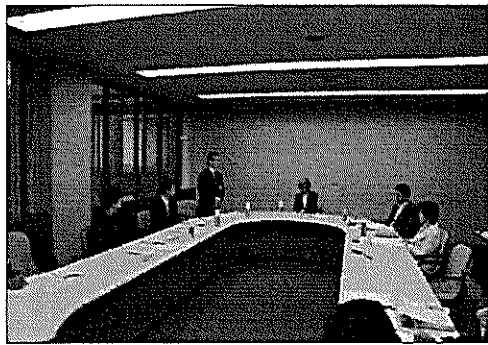
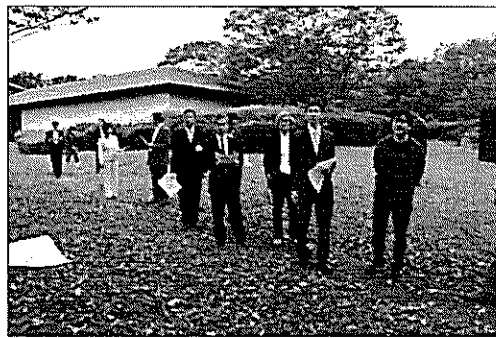
新生美術館設計者選定プロポーザルの実施状況について


1 第一次審査（書類審査）の結果

平成 31 年度（2019 年度）までの開館を目指し、整備を進めている新生美術館について、整備工事（新館建設・公園整備等）の設計業務を行う設計者を選定するためのプロポーザルを実施しているところですが、参加する設計者を公募（平成 26 年 11 月 5 日公告）したところ、13 者から参加表明書の提出があり、12 月 11 日に開催した選定委員会（第一次審査）において、提出書類に基づき資格要件、業務実績、実施方針、実施体制、新しい美術館に対する考え方等について審査した結果、以下のとおり、第二次審査（技術提案書等審査）に進む 5 者を選定しました。

受付番号	商号または名称	所在地
1	株式会社青木淳建築計画事務所	東京都港区
3	株式会社隈研吾建築都市設計事務所	東京都港区
6	株式会社山本理顕設計工場	神奈川県横浜市
7	有限会社 SANA A 事務所	東京都小平市
1 2	株式会社日建設計 大阪オフィス	大阪府大阪市

2 これまでの経緯

平成 26 年 10 月 22 日(水)	<p>第 1 回選定委員会【会場：滋賀県立近代美術館会議室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長に布野修司委員、副部会長に伊東豊雄委員を選出 ・ プロポーザル資格要件、特定テーマ、評価基準等について審議 ・ 美術館内と新館建設予定地を視察 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>委員会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>委員による新館予定地視察</p> </div> </div>
11 月 5 日(火)	公募型プロポーザル公告
11 月 27 日(木)	<p>参加表明書提出期限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の設計会社 13 者から参加表明書の提出を受ける
11 月 29 日(土) ～ 12 月 7 日(日)	<p>参加表明書公開・県民アンケート実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加表明書の一部（「新しい美術館に対する考え方」）を、県ホームページと近代美術館ロビーで公開し、意見を募る県民アンケートを実施、140 人から回答があり、第 2 回選定委員会での第一次審査の際の資料とした

		<p>新生美術館の設計者選定に関するアンケートにご協力ください</p> <p>滋賀県では、県立近代美術館の施設や機能の充実を、「美の滋賀」の柱力に多くの人が出会いたい。新しい美術館として生まれ変わるための準備を進めています。(2019年度までのオープン予定)</p> <p>新館建設や公開演舞等の工事の設計を行う設計者を選定するプロポーザルの実施にあたり、県民アンケートを行いますので、各設計者からの提案資料をご提供いただき、ぜひ、皆様のご意見を伺わせてください。</p>  <p>★ アンケートの目的 ★ 各設計者からの提案資料を参考に、県民がどのような美術館を望んでいるのか、その希望についてお聞きください。希望から提案したい内容を知り、滋賀県民アンケート等を通じて提案資料を審査部において、第1次審査として設計者1名に絞り込むための資料として活用させていただきます。</p> <p>★ アンケート実施期間 ★ 平成27年11月26日(水)～12月7日(月)</p> <p>★ 設計者提案資料の公開審査と採点方法 ★ ○滋賀県立近代美術館の専任建築設計事務所(2社)に採点 → 滋賀県立近代美術館のアンケート結果を公開させていただきます。 (※本アンケート結果は公開されず、あくまで採点にのみ活用させていただきます。)</p> <p>滋賀県立近代美術館(本館) 審査部 委員会事務局 〒525-8501 滋賀県彦根市彦根1-1-1(第3期) TEL:077-542-1111</p>
12月11日(木)	<p>第2回選定委員会（第一次審査（書類審査））【会場：滋賀県庁内会議室】</p> <p>・各者の参加表明書（資格要件、業務実績、技術者の経験、実施方針等）を審査し、評価点の高い者から5者を技術提案書の提出を求める者として選定</p>	
平成27年 1月6日(火)	<p>第一次審査（書類審査）結果発表</p>	

選定委員会（滋賀県建設コンサルタント等選定審査委員会審査部会）委員（50音順）

氏名	所属・役職等	分野
秋山 茂樹	滋賀県立近代美術館 館長	行政
伊東 豊雄	【副部会長】(株)伊東豊雄建築設計事務所 代表 / 建築家	建築
今西 純一	京都大学大学院地球環境学堂 助教	公園
奥 健夫	文化庁文化財部美術学芸課 主任文化財調査官	文化財
辻村 琴美	新江州(株) M・O・H通信編集長	地域
西嶋 栄治	滋賀県副知事	行政
長谷川 祐子	滋賀県顧問（新生美術館整備担当）	行政
布野 修司	【部会長】滋賀県立大学 理事兼副学長	建築
南 琢也	成安造形大学 准教授 / アーティスト	美術
吉田 郁雄	滋賀経済同友会 代表幹事 / (株)滋賀銀行専務取締役	経済

3 今後の予定

- 2月16日(月) 各設計者からの技術提案書の提出期限
- 2月18日(水) 技術提案書の公開および県民アンケートの実施（～25日(水)）
- 2月27日(金) 第3回選定委員会（第二次審査（技術提案書等審査））
 - ・公開プレゼンテーションおよびヒアリング
会場：ピアザ淡海（ピアザホール） 時間：17:00～
 - ・審査（非公開）→設計者1者を特定
- 3月中 設計者と契約締結・設計業務開始

滋賀県立近代美術館増築その他工事設計業務に係る技術提案書等の評価基準(公告説明書より抜粋)

【第一次審査の評価基準】

評価項目				判断基準	評価点
1. 事務所の適格性 (15点) (様式4)	事務所	技術力	業務執行 技術力	受託実績 ・元請(共同企業体の場合は代表構成員)として受託した実績を評価する。	15点
			技術力	受託実績	・元請(共同企業体の場合は代表構成員)として受託した実績を評価する。
2. 技術者の経験および能力 (30点) (様式3) (様式4)	技術者	技術力	業務執行 技術力	従事実績 ・技術者として従事した実績を評価する。	10点
			技術力	受賞実績 ・過去に携わった建築関係設計業務における受賞実績について評価する。	5点
	主任技術者	技術力	業務執行 技術力	従事実績 ・技術者として従事した実績を評価する。	10点
			技術力	受賞実績 ・過去に携わった建築関係設計業務における受賞実績について評価する。	5点
3. 業務の実施方針、実施体制および考え方 (55点) (様式2) (様式5) (様式6)	実施方針 実施体制		理解度 提案力 業務フローの 妥当性 工程計画の 妥当性	・業務の実施方針および実施体制を評価する。	55点
	新しい美術館に対する考え方			・新しい美術館に対する考え方について評価する。	
					計 100 点

【第二次審査の評価基準】

評価項目			判断基準	評価点	
1. プレゼンテーションおよびヒアリング (100点)	専門技術力		専門技術力の優位性	・特定テーマに関する補足説明が明確で、業務の課題や問題点が把握されている場合に優位に評価する。	100点
	取り組み姿勢		業務への取り組み姿勢	・特定テーマに対する提案が、中心的、主体的に作成され、業務への取り組み意欲が高い場合に優位に評価する。	
	コミュニケーション力		質問に対する応答性	・質問に対する応答が明快、かつ迅速な場合に優位に評価する。	
2. 特定テーマに対する技術提案内容 (200点) (様式8)	特定テーマ①	的確性、芸術性、創造性	①「美の滋賀」の拠点として、滋賀らしさを表現し、世界から注目されるような新しい創造性に富んだ建築イメージについて ・「美の滋賀」の理解度、滋賀らしさの表現力、建築イメージの芸術性、創造性について評価する。	50点	
	特定テーマ②	的確性、実現性、独創性	②びわこ文化公園(文化ゾーン)全体を美術館とみなし、隣接する図書館とのつながりを含む公園の整備と美術館の整備を一体的に行うコンセプトを設定し、それを具体的に実施する方策について ・立地環境を生かし、周辺施設とつながり、自然の美と合わせた整備、公園の活用方法について評価する。	40点	
	特定テーマ③	創造性、独創性、情報収集分析力	③公共機関を利用した駅から美術館へのアクセスにおいて、また、周辺駐車場(東・北・西)やバス停からのアプローチにおいて高揚感を演出する方策について ・アクセス改善のアイデア、高揚感を高める演出方法について評価する。	30点	
	特定テーマ④	的確性、実現性、情報収集分析力	④県民および来館者や施設管理者等から意見をくみ取る方策および新しい美術館を広くPRする方策について ・みんなで創る美術館としての、意見収集分析方法、情報発信手法について評価する。	20点	
	特定テーマ⑤	的確性、独創性、情報収集分析力	⑤子どもや高齢者、障害のある方をはじめ、すべての人に居心地がよく使いやすい施設にするための方策について ・案内表示、鑑賞ツール、情報通信技術の活用について評価する。	20点	
	特定テーマ⑥	実現性、独創性、情報収集分析力	⑥ライフサイクルコストの縮減および環境負荷の低減を図るための方策について ・整備費の縮減方法、省エネルギー化、再生可能エネルギーの活用について評価する。	20点	
	特定テーマ⑦	的確性、実現性、独創性、情報収集分析力	⑦国宝、重要文化財等の貴重で脆弱な作品を、良好に保管、展示できる環境確保および安全確保の方策について ・公開承認施設としての環境確保、防犯、防災対策について評価する。	20点	
					計 300 点